

□議員名：吉永美子

1 安心・安全なまちづくりについて

(1) 社会福祉施設の防災・防犯について

論点	市内の社会福祉施設における防災マニュアル及び防犯マニュアル策定状況を把握しているのか。また、社会福祉施設の防災・防犯に対する市の取り組みについて聞く。
回答	市の管轄下にある社会福祉施設については、どの施設も防災マニュアルの確認はしている。防犯マニュアルについては、山陽小野田市社会福祉協議会において、このたびの神奈川県での事故を受け、直ちに防犯マニュアルを策定したと聞いている。

(2) 防災行政無線聞き取り困難への対応について

論点	「無線が聞こえなかった」との市民の声を受け、昨年『音声自動応答サービス』導入を提案したが、その後の検討状況を聞く。
回答	音声自動応答サービスについて、市民への情報伝達手段として一定の評価はできるが、現在のところは取り急いで導入する考えはない。

論点	防災行政無線について、防府市が60カ所あるのに対し、本市は4カ所しかないことをどう認識しているのか。
回答	当然、市内4カ所しかないというのは不足しているという認識は同じである。防災体制の見直しが早急に必要な時期が来ていると考えている。

(3) 被災者支援システムについて

論点	5年前の平成23年6月議会で、西宮市職員が作成した被災者台帳である被災者支援システムの導入を提案していたが、導入予定について聞く。
回答	本市においては、現在のところ導入はしていないが、被災者にとってよりよい支援が行われるよう、緊急時の情報一元化について、この被災者支援システムを含め研究し、関係部署と協議していきたいと考えている。

(4) 防災拠点の機能強化について

論点	避難所等における、マンホールトイレやかまどベンチ設置の考えを聞く。
----	-----------------------------------

回答	市内の公共下水道は、道路敷に埋設されているために、マンホールトイレとして使用するのには困難な状況である。かまどベンチについては、避難者へ提供する食事の面において有効だとは思いますが、安全性について慎重な検討が必要と思われる。また燃料となるまきの備蓄をどうするかという課題もある。
----	---

2 GCFの導入について

論点	自治体がインターネット上で事業資金を寄付してもらおうGCF（ガバメント・クラウド・ファンディング）の導入について考えを聞く。
回答	GCFは自主財源確保のための手段の一つとして認識しているが、予算編成に当たり、必要となる事業費に対して歳入となる寄附が幾ら集まるかが正確に把握できないことなど、実施に当たってさらなる研究が必要である。

3 動物愛護について

（1）環境省のガイドラインにおける飼い主への啓発状況について

論点	平成25年8月に作成された、環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」について、飼い主への啓発状況を聞く。
回答	一時的な資料配布の展示のみにとどまっている状況であり、今後はこのガイドラインの趣旨にのっとり、飼い主に対しても、ペットを災害から守ることの備えを盛り込んだ啓発に心がけていきたいと思っている。

（2）避難所でのペット同伴のための整備状況について

論点	避難所について、ペット同伴のための整備状況を聞く。
回答	避難所はどこも動物を受け入れることができる作りにはなっていないのが現状である。仮に受け入れたとしても、ペットの鳴き声や排せつ物の処理、毛の飛散、えさの備蓄、獣医との連携など、解決しなければならない課題が数多くある。今後、善後策を講じたい。

（3）動物専用焼却炉について

論点	宇部市や防府市のように、ごみ焼却場に動物専用焼却炉を設置している自治体がある中、新ごみ処理センター建設に当たって、動物専用焼却炉の設置についての検討はなかったのか聞く。
回答	これまでの旧焼却施設においても、動物の死骸に関しては焼却炉で処理している。また、建設費についても、できるだけ安価に抑えた

	いということで、専用の炉の検討は行っていない。
--	-------------------------

4 読書活動推進について

(1) セカンドブックスタート事業の導入について

論点	子どもの読書推進策として、セカンドブックスタート事業導入の考えを聞く。
回答	図書館における子ども読書活動の推進については、第2次山陽小野田市教育委員会子供読書活動推進計画に基づき取り組んでいるところであり、提案のセカンドブックスタート事業については、実施の予定はないが、先行事例を調べてみたい。

(2) 図書館や小中学校における図書購入費増額について

論点	公立図書館や小中学校における図書購入費増額への考えを聞く。
回答	公立図書館は、来館者や貸し出し冊数の増加に、図書館業務の柱である資料、情報の収集、整理保存、閲覧貸し出しを強化して対応し、この傾向を維持していきたいと考えており、それを支える一つとして図書購入費の増額に努めていく。小中学校の図書購入費は、予算の増額に努力するとともに、学校間、市立図書館との連携を深め、児童生徒の読書活動の一層の推進を図っていきたい。

5 がん検診・特定健診について

(1) 受診率向上への取組について

論点	がん検診及び特定健診について、受診率向上のための取組状況を聞く。
回答	特定健診については、過去3年間一度も特定健診を受けていない方に、はがきで案内を出し、勧奨を勧めようと思っている。がん検診については、クーポン券交付の対象者に、受診意向調査を同時に実施し、個別対応での受診勧奨を予定している。

(2) 乳がん自己検診用グローブ配布について

論点	乳がんの自己検診を行うための検診用グローブ配布の考えを聞く。
回答	提案のグローブについては、自己検診をスムーズに行うために有効なツールであると認識はしているので、今後、自己検診を進める中での情報として用いるとともに、有益な手段での配布について検討していきたい。